



機械科通信

酒田光陵高校機械科
第16号
平成27年7月24日

◆技能検定について

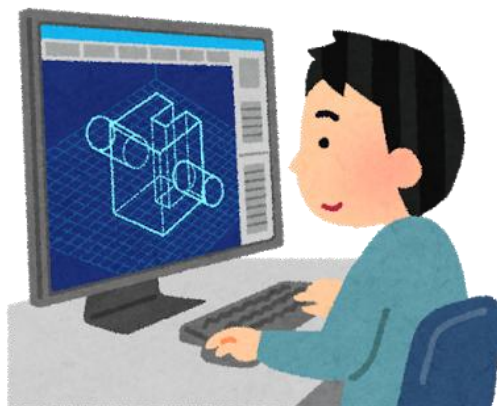
本校工業科が技能検定受検を強く勧めていることは既に知っていることと思います。そこで本校、そして機械科の昨年の合格実績を記したいと思います。

昨年1年間の本校全体の合格者数は197名（2級22名3級175名）です。山形県全体が588名（2級36名3級552名）ですので、**本校が山形県全体の33.5%**を占めています。つまり山形県の高校生技能士の三分の一は本校の工業科の生徒なのです。（本校HP・工業科のページに詳細記載）

本校の凄いところはここからで、2級合格者に関しては県全体で36名なのに対し、本校の合格者は22名です。実に**61.1%が本校生**なのです。3級技能士は初級技能者と定義されており、高校生でも受検可能ですが、2級技能士とは中級技能者と定義されています。つまり会社の中では中堅に位置する技能者が取るべき難易度の高い資格なのです。

昨年の本校の2級技能士は22名ですが、その内**機械科の生徒が11名**です。**本校の2級技能士の5割が機械科**の生徒なのです。機械科の2級技能士を紹介します。普通旋盤／丸藤達矢（当時3年）・田賀さおり（当時2年）・太田奏（現3年）、電気系保全／佐藤佑丞（当時3年）、機械系保全／井上紘（当時3年）・小野博臣・佐藤燎介（当時2年）・太田奏・小松快成・今野太郎・富樫晃大（現3年）・佐藤雷太・高橋長仁（現2年）、シーケンス制御／佐藤佑丞（当時3年）。

最近卒業生が来校して、技能検定の指導してほしいとの依頼がありました。詳しく話を聞くと、会社では資格の取得を強く勧められますが、その練習時間は就業時間中には認められず、19時以降になるそうです。また、自分の時間



が空いても工作機械が空かずに練習ができないそうです。本校では必要な道具を準備してもらえ、実技試験や学科試験の指導もしてもらった上、工作機械や備品も比較的自由に使える環境が羨ましいとのことでした。

君達が在籍している酒田光陵高校の機械科は、充実した設備と豊富な経験で指導して下さる先生方、酒田市や工業教育協会の支援による材料費や消耗品費の補助等、卒業後はあり得ない程手厚い指導体制を布いています。今この時期を逸することなく、貪欲に資格取得に挑戦して下さい。

◆野球部の活躍について

7月10日に開幕した第97回全国高等学校野球選手権山形大会では、本校野球部が創部4年目にして初のベスト4に進出しました。投手の小野紫音（環境技術科）の活躍が目立ちますが、機械科の生徒も活躍しています。セカンドの伊藤伸晃は東海大山形戦で逆転の右越二塁打を放ち、チームを勝利に導きました。伊勢陽平は九里学園戦で4番ファーストで出場し、2安打2打点の活躍を見せてくれました。また、高橋都巴は2年生ながら初戦からサードで出場し、果敢なプレーでチームに貢献しました。代打や守備で途中出場を果たした選手、ベンチやスタンドで声援した選手、全ての選手がチーム一丸となって今回のベスト4を掴み取ったと言えるでしょう。

野球部の練習は決して楽なものではありません。しかし、機械科の野球部の生徒を見てみると、素直に野球に打ち込む姿が、そのまま学校生活や実習の取り組み姿勢、資格取得の意欲に現れています。そんな野球部の姿が機械科を始め、学校を引っ張っているように感じられます。また、そのチームを率いる監督の小山大央は、なにをかくそう機械科の教員でユーモアあふれる40歳、時には優しく、時には厳しい先生で生徒に慕われています。

野球部員は3年23名、2年23名、1年23名の69名からなる大所帯ですが切磋琢磨し、今後優勝を目指して頑張してほしいです。

